

落葉樹 (1986)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 105分
初公開日 1986/11/15
公開情報 近代映画協会

【解説】

新藤兼人が原作・脚本・監督を担当した、自伝的要素の濃い人間ドラマ。老作家が少年時代を回想する中で、愛する母への強い思いがよみがえる。

冬の蓼科高原で、初老の作家が八歳のころの自分を思い出していた。父、母、兄と二人の姉。家族と過ごした楽しい正月、そして母と出かけた夏。父は他人の借金の保証人となり、会社をたたむことになった。先祖に申し訳ないからと土地を手放そうとしない父に我慢ができず、兄は家を出て行ってしまう。上の姉はアメリカ移民と結婚することになり、家族に見送られていった。母は家が残っている間に兄を結婚させようと、屋敷で盛大な婚礼を執り行った。そしてついに家を手放す日がきた。

【クレジット】

監督	新藤兼人	
製作	今井正作	
プロデューサー	高島道吉	
	能登節雄	
	遠藤雅也	
原作	新藤兼人	
脚本	新藤兼人	
撮影	三宅義行	
美術	重田重盛	
編集	近藤光雄	
音楽	林光	
助監督	松井稔	
出演	小林桂樹	初老人
	乙羽信子	母
	財津一郎	父
	山中一希	少年
	川道信介	兄
	園みどり	長姉
	若葉しをり	次姉
	梶芽衣子	山へくる女性
	初井言栄	行商の女
	殿山泰司	作造
	菅原悠乃	作造の後妻
	戸浦六宏	執達吏 A

馬場当	執達吏 B
大滝秀治	伊左衛門
岡本真実	兄の嫁
深山富貴子	教師
森塚敏	道具屋